

**いばらき教育プラン**  
一人一人が輝く 教育立県を  
目指して  
～子どもたちの自主性・  
自立性を育もう～

笠間市の教育目標  
知性を高めひとりひとりの  
もちまえを伸ばす  
自然や文化を大切にし  
郷土を愛する心をつちかう  
豊かな感性をはぐくみ  
健やかな身体を養う

**【目指す生徒像】<生きる力を育てる>**  
**【共に語らん】徳：豊かな心**  
○志をもち、目標に向かって最後まで努力する生徒  
○自分を大切にし、他人を思いやる心をもち、協  
して生活できる生徒  
**【共に学ばん】知：確かな学力**  
○主体的に学習に取り組む生徒  
○自分で考え判断しわかりやすく表現できる生徒  
**【共に進まん】体：たくましい体・心の育成**  
○時間やきまりをきちんと守る生徒  
○自分や他人の健康・安全を考えた生活ができる生

**【目指す学校像】**  
○生徒一人一人を大切にし、  
共に学び合う学校づくり

**【目指す教師像】**  
1 情熱のある教師  
2 団結力のある教師  
3 教育力のある教師  
4 小中一貫を推進する教師

**【学校教育目標】 知的で 心豊かで 実践力のあるたくましい生徒の育成**



【校訓】  
共に語らん  
共に学ばん  
共に進まん

★校訓を生かした学校教育を推進＝安心・安全な学校生活を維持するために

**【共に語らん】  
徳：豊かな心の育成**

**【共に学ばん】  
知：確かな学力の育成**

**【共に進まん】  
体：たくましい体・心の育成**

○福祉教育の推進 ○黙勤の推進  
○心と目、耳で話を聴く生徒、相手に気持ち  
が伝わる挨拶をする生徒・相手の気  
持ちはぐくみ取れる生徒・相手を思いや  
る心を持つ生徒の育成  
○特別の教科道徳を要とした道徳教育の  
充実  
○好ましい人間関係の育成（生徒会活動、  
学校・学年行事、部活動）  
○不登校生徒の未然防止、組織的な早期  
対応  
○「いじめゼロ」宣言  
○インクルーシブ教育および合理的配慮  
を意識した特別支援教育の充実

○学習規律の徹底  
○「学び合い」による学習体制  
の確立  
○主体的・対話的で深い学びの  
実現  
○ICTの効果的活用  
○道徳の授業の充実  
○朝の読書の時間の充実  
○家庭学習の習慣化

○規範意識の向上  
○主体的な運動による体力の向上  
○薬物乱用防止教育、  
性教育、情報モラル教育、安全教  
育の計画的実施  
○中一ギャップ解消のための小中  
一貫教育の推進  
○部活動を通じたチームワークカ  
の向上  
○「笠間志学」を活用した郷土教育  
の推進

**【キーワード】 チーム和一クで、感動を共有**

★地域と共にある教育活動の充実  
○福祉教育や地域人材活用の充実  
○開かれた学校行事、地域各団体との連携・協力  
○学校・生徒の取り組みの積極的発信

★信頼される教員づくり  
○教員評価・学校評価による学校改善  
○GIGAスクールに対応した質の高い指導力の育成  
○教育公務員としての服務規律意識の高揚

＝ 友部地区小中一貫教育でめざす姿 ＝ 「ともべ」を愛し、新しい「ともべ」をつくる

**と**：ともに学び、  
郷土を愛する子

**も**：もちまえを見つけ、  
発揮できる子

**べ**：ベストを尽くし、  
がんばる子

**組織目標** ○生徒の頑張りを称賛し、感動を共有できる教育活動の展開  
**研究主題** 主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業づくり ～ICTの効果的な活用を通して～

**グループ目標**  
○第1学年  
・友部第二中の生徒としての生活習慣を身につける。  
・学習習慣を身につけることを通して、基礎学力をつける。  
・主体的に考え、行動できる生徒を育てる。  
・学び合い、特別活動を通して、生徒間、教師、家庭との関係づくりに努める。  
・教師としての自覚と自信を持ち、互いの個性を尊重し合いながら、チームとして職務にあたる。  
○第2学年  
・高い意識をもち、何事にも「考えて」、新しいことにも「チャレンジ」する。  
・基本的生活習慣の確立を目指し、当たり前のことを当たり前にできるようにする。  
・各授業を通して、進んで調べたり、自分で考えたことをまとめたりする活動を通して、学力向上を目指す。  
・学年や学級での団結を図る中で、お互いを認め合い、大切に思う気持ちを育む。  
○第3学年  
・自ら考え、判断し、表現する学習活動の流れに、学び合いの場を設定し、学力向上を目指す。  
・学校、学年、学級等への所属感を味わう場面を設定し、互いを尊重する気持ちを育む。  
・意識を高くもち、自分にまけない行動をする。  
・生徒の言葉を親身に聴き、将来の進路選択を支える。  
○教務部  
・生徒、教職員が「チーム和一クで、感動を共有」を意識し、全教育活動の中、感動を共有できる校内体制づくりをする。  
・働き方改革を推進しながら、職員研修の充実を図り、指導力の向上及び学力向上を目指す。  
・SDGsの視点に立ち、好ましい人間関係づくりの場を工夫し互いの良さを認め合い、もちまえを発揮できる集団を育成する。  
・家庭・地域の人的・物的資源・1人1台端末を有効に活用し、教育活動の充実を図る。